

# 野生の生き物は 自然のままに・・・

## エサやりはトラブルのもと！

Q：なぜ、エサを与えてはいけないの？

A：自然が許容する以上に特定の野鳥が増え続けるといろいろ困った問題が生じます。

◆ハトはベランダに巣をつくり、フン公害に悩まされている人が少なくありません。乾燥したハトのフンにはダニやハエが発生し、オウム病やクリプトコッカス病になる病原菌等が含まれています。好意の餌で増えた野鳥が市民の苦情によって、平成19年度には、2139羽の野鳥と1000個あまりの卵が駆除されています。



◆カラスの場合は皆さんもご存知の様にゴミ処理の方法に大きな原因があります。時には人をおどかしたり、小鳥のヒナをおそって食べてしまったりもしています。

◆トビは餌をもらえると知ると、お弁当を狙ったりします。この時トビは爪やくちばしが鋭いので大けがをするおそれがあります。

Q：エサを与えないとどうなるの？

A：自然にある食べ物で生きていきます。それが野鳥の本来の姿なのです。自然で生きられるよう環境を守ってやりましょう。

